

甲府一高あおぞら会 年報 2023

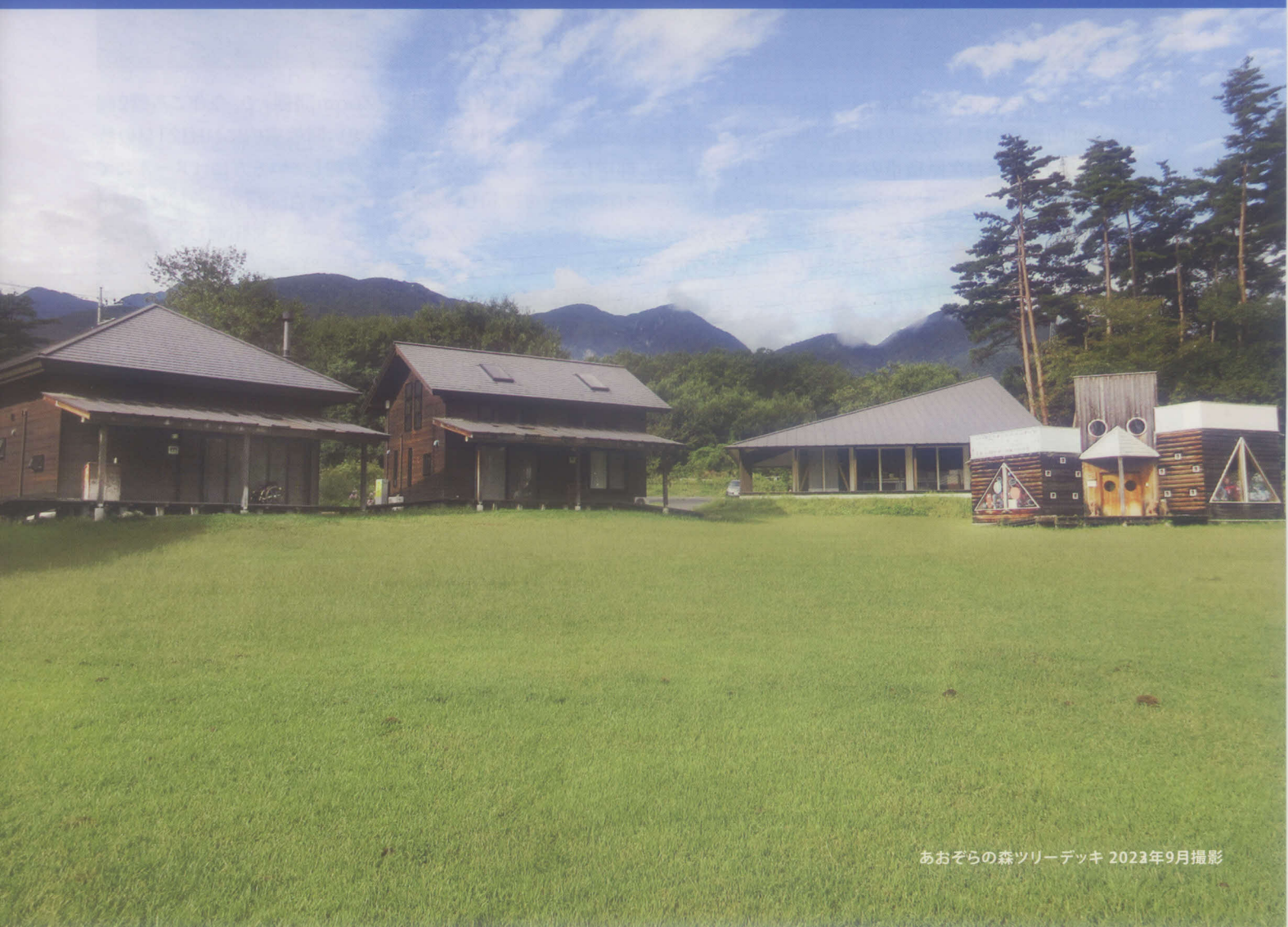
AOZORA

2024年3月31日発行(年1回発行) vol.9

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7

おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会

ホームページ <https://ymkp.net/aozora/>



会長挨拶

会員の皆様、お元気でしょうか。

昨年11月18日に4年ぶりの感謝の集い(詳細別掲)をあおぞら共和国で開催したところ、60名を超える方々の参加を頂き無事終わることが出来ました。コロナ禍のもとで会員同士直接顔を合わせる機会が無かった中で、久しぶりの心温まる時間を全員で共有しました。開催準備のために尽力頂いた山本さんを始め実行委員の皆様、美味なる自家製ブドウ液をご提供頂いた宮川様、甲府一高ア・カペラ部の皆様には深く感謝申し上げます。今年は世界中に紛争が無くなりこの感謝の集いが「平和への感謝の集い」とすることが出来ることを祈りたいと思います。皆様方には今後も引き続き当会への厚いご支援をよろしく申し上げます。



あおぞら共和国感謝の集い概要報告

2019年に開催した第1回感謝の集いでは、44名の方に参加いただきました。その後コロナ禍により2020～2022年は、あおぞら共和国での活動は停止でした。2023年末にやっと活動が再開でき、第2回感謝の集いを62名の皆様を迎え、あおぞら共和国にて開催することが出来ました。



2023年5月に新型コロナ感染症が5類に変更になったことを受けて、6月の実行委員会(Zoom開催)で、今年こそ第2回あおぞら共和国感謝の集いをと、11月18日開催で準備を進めることとしました。8月末に感謝の集い開催案内に10月21日の秋のチャリティウォークと台ヶ原宿市のボランティア募集を同封し郵送しました。メールアドレスを登録している方にはメールにて案内を送付しました。今回の特別企画として甲府一高ア・カペラ部の出演を依頼し快諾いただきました。ア・カペラ部は2015年11月5日秋のウォーキングと合わせて開催された「あおぞらふるさと祭り」ミニライブのトップバッターとして出演していただきました。本報告の最後の参加者の声に出演した部員から頂いた感想を掲載します。総会では発足当時から会員の中谷真一衆議院議員(H7年卒)、翌年加入の清水喜美男県議会副議長(S41年卒)より祝辞をいただきました。あおぞら共和国支援活動のあゆみ紹介は時間が取れなかったため、ホームページを参照願います。ア・カペラ部の熱唱後、参加者全員で記念写真を撮影しました。その後会場の模様替えを行い、交流棟という名前に合った、感謝の集いのメインイベント懇親会(昼食・喫茶と歓談)を開催。会員の宮川洋一氏(S43年卒)から頂いた山ぶどう100%の自家製のブドウ液を賞味)で会員の皆様の交流を図っていただきました。

歓談後、グループに分かれ、田伏委員があおぞら共和国のロッジ、あおぞらの森を案内。小口委員は八ヶ岳等の風景楽しむ約5kmのミニウォーキングをガイドしました。15:00に感謝の集いを無事終了しました。



あおぞら共和国感謝の集いの詳しい情報は
こちら



ア・カペラ部あおぞら共和国感想

- 1年 石川史章さん あおぞら共和国を訪問した時、演奏前にお茶を用意してくださったり、関係する皆様の親切に触れ感動いたしました。
- 1年 種元碧泉さん ア・カペラ部の1年生にとってあおぞら共和国では初めての発表でしたが、とても楽しく、貴重な体験でした。
- 2年 斎藤優太さん イベント前は緊張していましたが、皆さんがとても温かく、楽しんで行う事ができ、とても嬉しく思います。

あおぞら共和国の現状とこれから

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク 専務理事 福島慎吾

“あおぞら共和国”へのご支援ありがとうございます。

甲府一高あおぞら会の皆さまにおかれましては、長年にわたるあたたかいご支援をたまりまして心より感謝申し上げます。お陰様を持ちまして“あおぞら共和国”のご利用状況は、コロナ禍前の水準までほぼ回復してまいりました。また、山梨県や北杜市との関係構築も少しずつ、しかし着実に進展していることを実感しております。

しかし、建国開始から10年を超えた“あおぞら共和国”の既存の建物や施設の老朽化、経年劣化にともなうメンテナンスやリプレースが喫緊の課題として目の前に出現しております。新規の建物建築や施設整備とは異なり、こうした保守点検の部分にはなかなか必要な資金も集まりにくいこともあり、持続可能性が大きく問われる、前途多難な運用局面に至っているとも認識しております。

今後とも変わらぬご支援とご指導・ご鞭撻をたまりたくお願い申し上げます。

難病ネット主催あおぞら共和国イベント

2023年開催の主要なイベントとして、3月11、12日：たくさんイベント、5月12日、8月5、10、19日：星つむぎの村との連携イベント（観望会）5月26、27日：初夏の草刈り、9月22、23日：秋の草刈りがありました。以下に秋のウォーク関連のイベントを紹介します。春のチャリティーウォークは雨のため中止となりましたが、秋のチャリティーウォークは青空の下で開催されました。尚、今年10月20～22日の3日間、コースの途中の旧甲州街道の宿場、台ヶ原にて開催されている台ヶ原宿市に初めて「あおぞら共和国」テントブースとして難病ネットから出展しました。

台ヶ原宿市にテントブース出展は地元の吉田医師（甲府一高あおぞら会会員）の紹介で可能となりました。

台ヶ原宿市出店テントブース：10月20、21日10:00～16:30 22日10:00～16:00 七賢直営レストラン駐車場

秋のウォーク：10月21日（土）10:15～14:00 日野春駅前～台ヶ原宿市テントで解散

コース：JR日野春駅出発～水車の里公園（休憩・昼食）～台ヶ原宿市テントで解散 約8km



日野春駅前公園から出発



台ヶ原宿市テントブース

今回は「あおぞら共和国ブーステント」を初めて出展したので、ウォークの解散はあおぞら共和国ではなく、台ヶ原に出展したテント広場となりました。そこからあおぞら共和国までの帰路は、例年のコースを歩いてもよし、宿市のシャトルバスを利用してよしとなりました。シャトルバスはあおぞら共和国近くの白州総合運動場（駐車場として利用）から、台ヶ原宿市の出口までの約4kmを往復していました。尚、ウォークには厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課の山田課長一家の参加がありました。

甲府一高あおぞら会：①秋のウォークに関し、安全なウォーク実施の巡回サポート要員と送迎車の支援を行いました。②台ヶ原宿市テントではテントの設置/撤収、あおぞら共和国資料を配布、療育相談、よ子の遊び場（簡単な工作、木の卵池等遊具）の送迎等の支援を行いました。

難病ネット主催あおぞら共和国イベント 詳しい情報はこちら →



あおぞら共和国で開催された“たくさんイベント”の紹介

執筆者：難病のこども支援全国ネットワーク あおぞら共和国担当 荻須洋子

2023年3月11、12日の土日、あおぞら共和国にて“たくさんイベント”を開催しました。たくさんイベントのプログラムの一つ“早春キャンプ”は、『いつも利用していない遠方の家族に利用して欲しい』と考え、難病のこども支援全国ネットワークで毎年開催している7か所のサマーキャンプ“がんばれ共和国”キャンプの参加家族に声をかけ、7か所の中から①つながろうキャンプ(関西)②おいでんほうらいキャンプ(愛知)③しぞーか(静岡)④あしがら(関東)の4キャンプ5家族が参加してくれました。そのうち大阪の徳永ファミリーと、静岡の新井ファミリーの感想文です。

早春キャンプ参加者の声

◆つながろうキャンプキャンパー 徳永ファミリー

先日はたくさんイベントに参加させて頂きありがとうございました。大阪から“あおぞら共和国”までは朝の5時に車で出発して休憩を入れながらご当地のグルメを楽しみつつの約7時間のロングドライブでした。子どもたちも車内ではご機嫌に乗ってくれたので良かったです。ロッジもとても大きく、和室で兄はゆっくりと、妹は2階に上がったたり色々な場所を見たりと新しい場所に興味津々、親も初めて見る薪ストーブにワクワクでした。イベントの内容もゆったりとしたペースで進行していて、兄はコロと寝転び参加し妹はひたすら色塗りやお絵描きに夢中でした(講義にはあまり参加出来なくてごめんなさい!)プラネタリウムやコンサート、星空観察と中々家族揃って出来ない事をたくさん経験しましたが、やはりメインの気球体験には感動しました。淡路島の“がんばれ共和国”では強風のため乗れなかった思いを今回無事果たせることが出来ました。親もですが子どもたちも空を飛ぶ感覚にとっても感動をしていました。この2日間色々な体験ありがとうございました。家族みんな楽しい思いができてとても良かったです。今後も色々なイベントに参加したいと思いますのでよろしくお願いします。



◆しぞーかキャンプキャンパー 新井ファミリー 「たくさんイベントに参加して」

サマーキャンプではいつも迎える側で、慌ただしく過ごしていますが、たくさんイベントでは迎えてもらう側で、楽しく参加させて頂きました。のぞみ参加了イベントは…。 “あおぞら共和国”の周りに生息する生き物を写真で説明してくれた、美術館館長の藪内さん。“あおぞら共和国”で見つけた植物と動物の話をしてくれた畑さん。生演奏の太鼓とお神楽のただじゅんさん。つながる友の輪としてお話をしてくれた矢崎さん。“あおぞら共和国”に対する思いを語った、亡くなられた小林さんのDVD。気球に乗ってどこまでもデュエットしてくれた、高音が美しい「おきのむくま」のお二人。星空観察で色々な星座を教えてくれた、星つむぎの村。気球に乗ったあとで片付けするときに気球の中に入って記念撮影をさせてくれた、今村さん。新井家の特別参加は… 現地の道の駅で買い求めた食材を使っのバーベキュー。のぞみのミニ折り紙教室。のぞみ父が参加したイベントは…。おもちゃ遊びで購入したかったオタマトーンを見つけて、キー外れの演奏?。道路へのキリンの落書き、『また来てね、首を長くして待ってます。』とお別れのメッセージ付。閉国式では、くまさんのぬいぐるみを頂けて、我が家のぬいぐるみ家族に新メンバーが加わりました。1泊2日で、たくさんイベントに参加できてとても楽しかったです。



2024年のたくさんイベントは、3月8、9、10日の金土日で開催です。

前回来られなかった、おーきな輪(沖縄)、阿蘇ぼう(九州)、みちのく七夕(東北)からも参加して欲しく、参加のネックになっている交通費の問題を、甲府一高あおぞら会さまにご相談したところ、『以前から利用支援をしたいという声が出ている』とのことで、家族単位で8万円、最大8家族程度の支援をいただくことで、2024年の実績を踏まえ調整させていただきます。イベント参加の様子はホームページと来年の年報にてご報告させていただきます。ありがとうございました。

あおぞら共和国でのボランティア活動紹介

難病のこども支援全国ネットワーク主催の草刈りボランティアは春秋の2回、一般の方に呼び掛けて、実施しています。甲府一高あおぞら会会員も参加しています。ご一緒に作業しませんか？ここではサントリー白州工場の皆様の活動の具体例を2つ(写真AとB)紹介します。

サントリー白州工場では、毎月第3水曜日に、里山作りのボランティアを実施しています。2014年にあおぞら共和国の草刈りボランティア募集の案内を見たのが始まりとのこと。



A: 機械を使った薪割り



B: あおぞら共和国に火山出現!!! 驚くべきニュースをお届けします! あおぞら共和国に火山“あおぞら岳”が出現しました。既に噴火は収まり、コニーデ型火山の外輪山の端にトロイデ型火山が盛り上がり、外輪山沿いに周回できる登山道が出来ています。外輪山と中央の山の間には地下より上昇して露出した花崗岩がごろごろと沢になっています。沢を渡る丸木橋により周回登山道はつながれています。実は、二つあった雑草が茂る見苦しい残土の山を一つにし、子どもの為のミニハイキングコースとして作ったものです。常に人が歩けば、雑草の繁茂も抑制できると思います。あおぞら共和国に行かれた際には、是非、登頂を試みて下さい。子ども達が、この登山道をハイキング?するのを楽しみにしています。この“火山”も、サントリー白州工場の皆さんのボランティア活動により実現しました。

外輪山と中央の山の間には地下より上昇して露出した花崗岩がごろごろと沢になっています。沢を渡る丸木橋により周回登山道はつながれています。実は、二つあった雑草が茂る見苦しい残土の山を一つにし、子どもの為のミニハイキングコースとして作ったものです。常に人が歩けば、雑草の繁茂も抑制できると思います。あおぞら共和国に行かれた際には、是非、登頂を試みて下さい。子ども達が、この登山道をハイキング?するのを楽しみにしています。この“火山”も、サントリー白州工場の皆さんのボランティア活動により実現しました。

甲府一高あおぞら会実行委員会活動報告



■ 2023年5月20日 甲府一高同窓会にて、あおぞら共和国支援の広報活動・募金を行いました。

■ 2023年7月8日 甲府一高東京同窓会にて、あおぞら共和国支援の広報活動・募金を行いました。

Information- 小口こどもクリニック クリニック文庫の紹介

以下のサイトから電子書籍・PDFで閲覧できます。

<http://oguchi-ped.cside.com/library.html>



あおぞら共和国物語

みんなのふるさと夢プロジェクト10周年に、発起人小口医師が編纂・出版したあおぞら共和国建設の経緯を紹介する本。

神経発達症を持つこどもの家族向けCSTテキストブック

CST=(Caregiver Skills Training)

発達障害の子どもの生育支援 WHO 2022年発行 編集・翻訳 小口弘毅



あおぞら共和国のまわりの自然 尾白川溪谷 日向山

あおぞら共和国の横の駒ヶ岳広域農道を約8kmほど南に走り、はくしゅう道の駅からの道との交差点を右折し7kmほど走ると駒ヶ岳登山口のかなり広い駐車場に到着します。トイレもお店もあります。10分ぐらい川に向かって歩くと、左に降りると尾白キャンプ場、右奥は竹宇駒ヶ岳神社に到着します。そこから吊橋を渡ると、尾白川溪谷沿いの散策路があり、千の淵滝まではだれでも行くことができます。神社の横から日向山矢立岩登山口へ50分の標識があります。登山口から1時間15分で1660mの三角点、その先山頂を越え15分で、花こう岩の広い雁ヶ原に到着します。駐車場の1kmほど手前には名水公園べるが、尾白の湯等があり、下山後休憩が出来ます。



北杜市観光情報サイト「ほくとナビ」より



雁ヶ原から望む甲斐駒ヶ岳



上空から望む日向山



日向山の天空のビーチ:雁ヶ原



雁ヶ原から八ヶ岳をバックに

あおぞら共和国のご利用方法

あおぞら共和国の利用方法については、難病のこども支援全国ネットワークの「あおぞら共和国」専用のサイトよりトップページの「利用する」ボタンをクリックして、申し込み方法をご覧ください。 <https://www.aozorakk.com/> ご利用いただける方は、

①難病や障害のある子どもとその家族 ②①の関係者や支援者 ③難病ネット会員(正会員・賛助会員・購読会員)となっております。甲府一高あおぞら会会員は支援する団体員ですので、空きが有れば利用できます。



あおぞら共和国 所在地:山梨県北杜市白州町鳥原2913-134

電車でお越しの方:JR中央本線「小淵沢駅」よりタクシーで約12分 自動車でお越しの方:中央自動車道「小淵沢IC」より車で約15分

Q&A 皆様からの質問と回答

質問事項、ご提案を事務局までメールでお寄せください。ホームページに回答を掲載し、一部は年報に掲載いたします。

Q あおぞら共和国に行く、バス等公共交通機関はありますか

A 近くを走るバスはありませんので、JR小淵沢駅からはタクシー利用となります。料金は約2500円です。

あおぞら共和国近くの『みどころ・あじどころ』 その8(毎号連載)

道の駅こぶちさわ 山梨県北杜市小淵沢町2968-1 <https://mkobuchisawa.jp/>

中央道小淵沢ICを出て、右折約1km先の交差点の右側に道の駅「こぶちさわ」があります。広い敷地の中には、駐車場、観光案内所、トイレ、農産物直売所、レストラン、パン屋、ジャム工房、そば処(そば打ち体験可)があります。隣接して、シャトレーゼ(お菓子・ケーキ)、体験工房、延命の湯、ホテル、があります。



2023年甲府一高あおぞら会の会務報告

新型コロナウイルス感染症対応もやっと収束し、年末にやっと通常の活動が再開できました。

1、活動/会務報告 事務局 山本秀彦 (2023年1月1日~12月31日)

- ◆2月末の年報AOZORAの発送より、2023年の活動を開始しました。3月末、正副会長の承認をネット・郵送で頂き、2023、2024年の体制も確定しました。あおぞら共和国での活動、イベントへの参加/支援は個人の判断で対応としました。実行委員会の開催は3回、甲府の同窓会では4年ぶりに広報活動を行いました。
- ◆感謝の集い・総会の開催2023年11月18日。
あおぞら共和国交流棟に62名の参加いただき、あおぞら共和国感謝の集いを開催することが出来ました。イベントとして甲府一高ア・カペラ部の混声合唱を披露しました。詳細は2ページの報告、ホームページを参照してください。

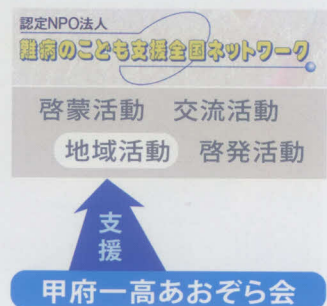
2、会計報告 会計 田伏純子 (会計期間は、2023年1月1日~12月31日 ここでは概算を報告いたします。)

- 1) 収入 = 合計1,886,672円 会費=1,095,000円 12月末の会員数453名 (会費納入者は365名)
寄付金=791,672円 寄付金、会員の皆様からの個別の寄付金
- 2) 支出 = 合計 239,548円 事務費、支払手数料、通信費、広報費
- 3) 支援金 = 1,647,124円 収入より、支出を差し引いた金額をあおぞら共和国への支援金として“夢”プロジェクト宛に振込いたします。その用途につきましては難病ネットと相談しております。

今までの支援金の累計額は 16,974,153円となりました。

3、甲府一高あおぞら会のあおぞら共和国支援と難病ネット活動について

- ◆難病のこども支援全国ネットワーク(以下難病ネットと略記)の仕事 難病ネットの活動は
1.電話相談や遺伝特別相談、ピアサポートなどの相談活動 2.岩手から沖縄まで全国7か所でのサマーキャンプ”がんばれ共和国”建国、親の会連絡会、サンタクロースの病院訪問などの、交流活動 3.子どもの難病シンポジウムや病弱教育セミナー、自立支援員研修会などの啓発活動 4.あおぞら共和国をはじめ積極的な地域活動を行っています。
<https://www.nanbyonet.or.jp/あおぞら共和国専用サイト><https://www.aozorakk.com/>
- ◆甲府一高あおぞら会は、上記難病ネットの4つの大きな活動の内、地域活動の「あおぞら共和国」の構築、運営、維持の支援を行っています。



会費納入(会員の更新)と、本会の紹介及び支援のお願い

年報AOZORAに同封しております、ゆうちょ銀行の振込用紙にて、会費納入(会員の更新)をよろしくお願ひいたします。

- ◆会費納入先: ゆうちょ銀行 口座名: 甲府一高あおぞら会 口座番号 001 10-9-323825
年報に同封したゆうちょ銀行の赤色振込用紙(料金加入者負担)で会費納入(会員継続)をお願いします。その他の振込方法は振込手数料は自己負担となりますが、ホームページをご参照の上よろしくお願ひいたします。
https://ymkp.Net/aozora/kaihi_nonyu.html

- ◆甲府一高同窓生に限らず、一般の方もご入会いただけます。事務局へ連絡ください。

- ◆「あおぞら共和国」への支援は各種の方法で (https://ymkp.net/aozora/aozora_sien1.html)

1. ゆうちょ銀行会費振込用紙で会費と寄付金を同時に納入頂く場合は、印刷された3,000円に取消線を引き、押印し、合計金額を上空欄部分に記載してください。その場合通信欄に明細(会費3,000円、寄付¥¥¥円)を記入してください。
2. 認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」の会員となってください。
3. 個人名での随時寄付は、ゆうちょ銀行加入者名: みんなのふるさと夢プロジェクト口座へ振り込み

事務局よりのお願い あおぞら共和国でのイベントは、ホームページ、Facebook に掲載しております。会員の皆様へ事務局からの連絡・お知らせを低コストで簡単に、タイムリーに行うために、メールアドレス登録にご協力をお願いいたします。スマホのメールアドレスを登録いただいている皆様は、甲府一高あおぞら会からのメール受信可能な設定をお願いいたします。スマホの初期設定は「パソコンなどのメール受信設定」が「受信しない」となっている場合が多く、事務局からのメールが着信拒否となり届きません。スマホのメールアドレスをご利用の方は、受信を許可するメールアドレスに aozora@ymkp.net を追加登録し、事務局からのメールを受け取る様な設定に、ご協力をお願いいたします。

自家栽培・自家醸造の“ドメーヌ”形式の ワイナリーを目指し日々畑と格闘中

甲府一高あおぞら会実行委員 保坂香子



8年前に東京から生まれ育った韮崎市に戻り、新規就農しぶどう栽培とワイン造りをしています。2013年、母校である甲府一高の在東京同窓会の女性部主催の講演会でみんなの夢プロジェクトを知り、その後、甲府一高あおぞら会のスタッフとしてお手伝いをさせていただいております。私は高校卒業後、東京で進学し予防医学としての栄養学、食文化、フードコーディネートを学び、企業で食とワインに関わる仕事をしてきました。2016年、食の根幹である農業について学ぶべく北杜市にある農業の職業訓練校に入り、先生より自宅のワイン用ぶどうの畑をソムリエの資格を持つあなたに任せたいとの話をいただき、ぶどう栽培を始めました。そして、収穫したぶどうを委託醸造でワインにすることになり、委託醸造先のワイナリー

よりせっかくソムリエなのだし、醸造を教えるのでワインを造ってみたいと、研修生になり自分のワインを造る第一歩となりました。職業訓練終了後は大手ワイナリーの栽培家養成研修コースに入り、その後は県のワイン研究機関で、分析と醸造の仕事をしながらか基礎を学ぶことができ、つくづくぶどう栽培とワイン造りは山梨の地域産業だと感じました。現在は耕作放棄地を開墾し、ワイン用ぶどうに加え、シャインマスカットなどの生食用ぶどうも栽培、出荷しています。ワイナリーはオープン準備中ですが、ワインは、ドメーヌ・キョウコ・ホサカ準備室の名で県内、東京、関西の酒販店や飲食店にて徐々に取り扱いが始まっています。農業を始めてからの8シーズンの中で、気候の変動の振れ幅が大きく、良くも悪くもその作業や収穫物に大きな影響を与えています。雄大な自然の中では人間の力は無力です。ぶどうの樹が大地の恵みをよりよく享受できるように人間がお手伝いしているのだと思うようになりました。過酷な作業ばかりですが、「行雲流水」という言葉を胸に、持続可能な農業とワイン造りをしていきたいと思ひます。



甲府一高あおぞら会 実行委員

2023年12月31日現在の甲府一高あおぞら会の実行委員は以下のメンバーです。(数字は甲府一高卒業年、Sは昭和、Hは平成です。) 実行委員を広く募集しています。山梨在住の方、50歳未満の方大歓迎です。

- | | | | | |
|--|---|---|--|--|
|  会長
露木和雄 (S45) |  副会長
軽石泰孝 (S50) |  事務局
山本秀彦 (S41) |  会計
田伏純子 (S44) |  監事
谷口百合子 (S36) |
|  宇野由美子 (S40) |  雨宮俊彦 (S45) |  小口弘毅 (S45) |  飯沼温子 (S45) |  小口博 (S47) |
|  齋木裕子 (S50) |  高橋久 (S51) |  青柳均 (S51) |  岡亜佐子 (S59) |  上松裕之 (H3) |
| | | | |  保延義仁 (S50) |
| | | | |  保坂香子 (H3) |

編集・発行・お問い合わせ

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会
FAX:042-786-4132 ホームページ:<https://ymkp.net/aozora/> 事務局mail: aozora@ymkp.net

ホームページとフェイスブック

入会のお申し込み以外にも、活動の様子、草刈りボランティアやイベントなどの日程や詳細は、ホームページとフェイスブックにてお知らせしています。チェックしていただき、活動にぜひご参加ください。



facebook



←ホームページ